

講習會記

— 主催 日本幼稚園協會 —

第一回夏期保育講習會を開いた。年々の文部省講習會が、東京では開かれない事になつたので、主催がかはつたさいふに過ぎない。さういふわけで、會員になるに別段むづかしい手續も要らないし、人員に制限も無いので、何さなく相共に心やすさで事が運ばれ、一つには始めての試み、自由質疑討究も加つてか、續々の申込みは、遂に全員四四〇、多少の缺席者はあつても實数は四百人を超える大盛會であつた。

七月二十一日から二十六日迄の六日間、幸ひ天氣快晴、日盛りの暑さは格別ながら、廣々した庭の雜草を撫で、はいる涼風が、折々ひいやりと會場内をすぎてゆくのも快い。雨のよさは、一人しづかに聞く夜の春雨、講習會は日本晴に限る。

會場は大講堂。常々學問の道に御心注がせらるゝ東伏見宮妃殿下の御染筆、大扁額の德音堂はこの堂の名稱。こゝ

に第一回保育講習會を開いた事を、日本幼稚園協會のために記念したいと思ふ。

廣さを念頭において募集したのでもないのに、四百十數人の會員は、快い程のよさでこの大講堂をうづめたのである。

さて次の記事にうつるこしてまづ時間表から。

時 間 表		第 一 部		第 二 部	
二十一日(金)	講師 倉橋	8	淡路 講師	11	淡路 講師
二十二日(土)	講師 倉橋	9	淡路 講師	12	淡路 講師
二十三日(日)	講師 倉橋	10	淡路 講師	1	淡路 講師
二十四日(月)	講師 倉橋	11	淡路 講師	2	淡路 講師
二十五日(火)	講師 倉橋	12	淡路 講師	3	淡路 講師
二十六日(水)	講師 倉橋	1	淡路 講師	4	淡路 講師

講習科目及び講師

第一部(午前八時より正午迄、六日間)

- 一、幼稚園保育の眞諦竝に保育案、保育過程の實際
- 一、保育一般に關する自由質疑討究(十二時間)

東京女子高等師範學校教授
附屬幼稚園主事 倉橋惣三

- 一、幼兒の心性査定の方法と新査定尺度の發表及び解説(六時間)

東京帝國大學助教授
文學博士 淡路圓治郎

- 一、幼稚園に於けるプロジェクト手技製作の實習(六時間)

東京女子高等師範學校
保姆兼教諭 及川ふみ

第二部(午後一時より四時迄、五日間)

- 一、幼稚園に適切なる唱歌遊戯及び幼兒團體遊戯指導
- 一、園兒による團體遊戯の實演

東京女子高等師範學校助教授 戸倉ハル

倉橋講師の講演内容については別項速記が記載されてる

るので、誠に好都合である。質疑應答について一こゝ述べ
て置きたい、今夏の講習が幼稚園協會主催と決定するや、
われわれ一同はこの事を申し出た、倉橋師も座談會につ
ては、かねてからこの計畫がおありの由、幸ひにも即座に
決定したわけである。そののち、會員諸氏からの便りに
も、是がかねぐの希望であつたさうで、こゝに圖らずも
好機到來したさいふわけである。

蓋をあけて見れば更に一層このことを喜ばずには居られ
なかつた。さすがに實際保育に親しくたづさはつて居られ
る權威者の問題は、獨り提出者のみが益することではな
く、志を同じくするものゝ何れもが關心を持たぬものは無
く、同じ疑問については解決を得、みづから會得するもの
は自らの解答が講師のそれと違つたら違つたで、同じけれ
ば同じで内心の安心を得、兎に角誰にこつても益する所が
多かつたのである。

受持つて居る組の子の夫れぐの心性は、日々生活を共
にしてゐる擔任にはよくわかつて居る、こゝはいふものゝ事

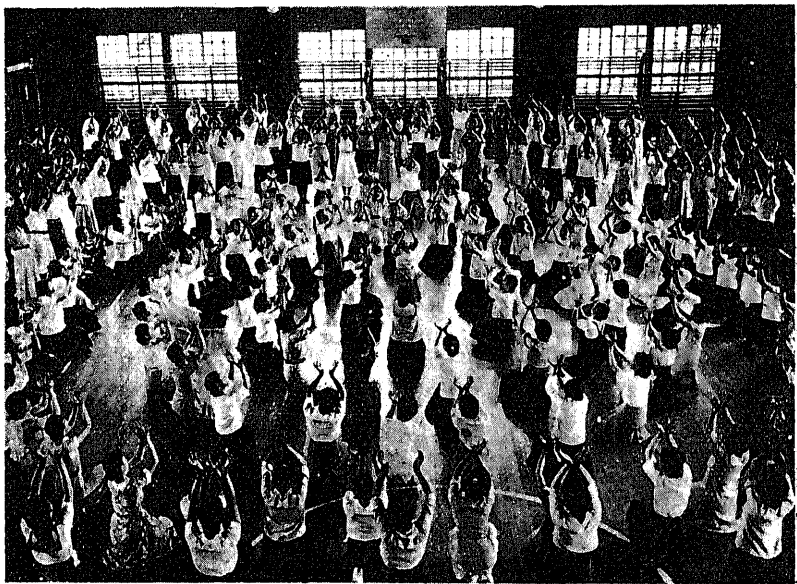
に感じ折にふれてつかみ得た何きなくのわかり方である。勿論それが可成りな確さを持つて居る事は知つて居てもたよりなさがある。これの科學的立脚點を、淡路講師は私共に示して下さつた。長い間幼児を對照して實驗せられたもので、これこそ實際保育者が今迄長い間待つて居た照明を得た喜びである。

倉橋、淡路兩師のあみに、實際家の手技の實習は何きいふ行き届いたプログラムであらうき、嬉しくもなる。しかもプロジェクト手技製作に關する多くの材料を得たこきは保母の身にまつてこの上もなく幸ひなこきである。

第二部は全部遊嬉、相變らず新鮮な果物の豊かな香りを味ふやうな戸倉師の新遊嬉、これ又實際資料を多分に與へられたこきを感謝する。

會場ステージで、約三十名の幼児（女高師附屬幼稚園児）が戸倉師指導のこきに遊戯實演をした。

一、タンボ



一、私のまね

一、かたつむり

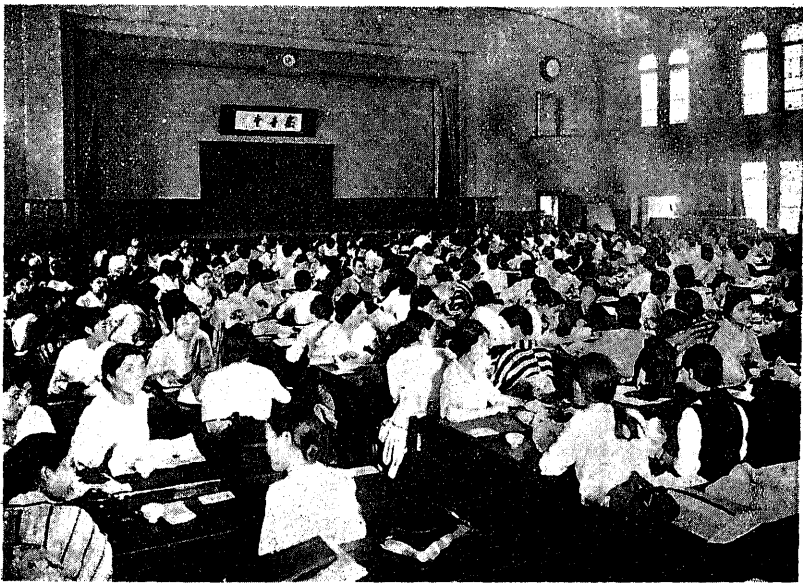
一、自由表現（蝶に花、種蒔、小鳥、象、あひろ、飛行機、犬、蛙、兎、鶴、等）

一、今年のぼたん

一、競争（兎の競争、亀の競争）

何故斯ういふ事をしたかについては、倉橋主事が特に説明せられたのであるが、要するに、幼稚園遊嬉は幼児の演出すべきものである。今回戸倉師発表の新唱歌遊戯及び新團體遊戯を幼児は如何に演出するかを、講習員各位に見ていただいたわけである。もこより巧さを標準にして幼児を選んだわけでは無いから、演技に於てはまここに平々淡淡としたものであつたが、そこにこそ却つて、まここの意を得られたのであつた。

終りに一ここ茶話會について、二十五日午後幼児遊嬉演出について、招待懇親茶話會を催した。倉橋講師の挨拶につづいて、京都の大塚喜一氏、名古屋の沼波馥氏は今夏講習會開催について非常な讃辭を呈せられた。遠くは天津、撫



順から、會するもの四百十數人、殆んぎ日本全國からの人がこの一堂に集つたのである。中村屋のロシヤ菓子にねぼけ堂の鹽せんべいは誠にさゝやかなものであるが、友達方より來る、亦樂しからずやの思ひは何れもが持つ同じ心境である。

この寫眞はその和氣霽々たる光景である。

二十六日正午講習會終了。

餘 錄

○酷暑の折柄よく皆様お出かけ下さいました。講習會が思ひの外盛んで、ほんとに嬉しうございます、と云へばまるで責任と感謝と安心を私一人が背負ひ込んでゐるやうですが、世話係り一同に代つてお禮を申上げる次第でございます。あれ位の講習會をするのは何でもありませんと、涼しい顔をしたのですがさうも參らず、然し相ついでの入會申込にはづみが出て、愉快にこの會を終ることが出來たのは、ほんとうに嬉しうございました。

奈落の底で働くのはしれたもの、興行主、兼俳優、兼舞臺

監督兼々の倉橋及川兩講師の勞を思へば何でもありません。

○内輪ばなしをすれば、戸倉さんの遊戲、例年とは違つて、講習のために度々の御相談があり、私共も腹藏なく云ひたい事を云ひました。つまり専門家と實際家(いさゝか氣おくれ)が折衝に折衝を重ねた結果でございます。何しろ體操致官室と幼稚園とは、はるか距てた果とはて、暑い盛りをあの戸倉さんが度々出かけて下さつた事を思つて下さいまし。

又幼児の實演遊戲に何をしようといふ事は、あいにくいろいろの差支へで主事に見て頂く折がなく、時迫つてから下見をお願ひしました。プログラム決定については、日頃いともお優しき主事、なか／＼ウンと承諾して下さいませぬ、いささかブンとなつて、

——先生がおわるいんでございますよ、もつと早く見て下さりやいゝのに。

——どうも誠に相すみません、私が悪いんぢやない、この口が(先生口邊のお障りにて一月程お休み)がいけなかつた、申しわけにございませぬ、ペーパーナイフで切腹せんと、こんなこともありませぬ。

○京都の大塚喜一さん、いの一番に申込んだのに、受付番號四番になつて残念、いかにも自分より先に申込むなんて不都合

ぬました。おすしは手づかみがおいしいさうです。鯉の時には左手練習の結果すぬ分上手に食べられたやうです。

(八年八月、新庄記)

の様な口ぶり、所がいざ座に落ついて見れば何のその、演壇との角度がまさに一等席、憧れの師には近く麗容にも接し得るといふわけ、會費は拾圓でもよござんすと云つたのは私達です。この人第二日に三十分遅刻、天つちのよし倒まになるうとも大塚さんが、保育真諦講義に遅れるなど、は、たゞ事でないと譯を聞いて見ました。ツボン、クリーニングの御用を承つた洗濯やさんが三十分遅く持参したそいで。京都の洗濯やさんはきつとお間に合せしたでせうに。どうもお氣の毒しました。

○茶話會席上沼波さんの御挨拶ぶり、その辯論の巧みにして何と朗たきことよ。どうです、女性だつて、こんなに上手な人があるんですと一寸倉橋講師に氣解を上げて見たくなりまして、日本の中京、名古屋に保育の中堅、沼波女史のあることを誇りといたじませう。

○講習について世話係り少々手不足を感じ、精華におうつりの徳久さんにもすけて貰へば、お休みだつた菊池さんにも出てもらうと云つたわけでした。つまり猫の手でも借りたいといふ有様、ところが猫の菊池さん、出た日からヒョウソウとやらの指の病氣、達者なのは口ばかり、ですからお辨當の時氣の毒がるの何のつて、おちぎばかりしてはむじや、たべて

嚴谷小波氏逝く

吾が國童話界の創始者 嚴谷小波先生は、九月五日午前八時二十四分、遂に永眠遊ばされた。享年六十四。

先生は、童話家としてのみでなく、俳人として又文學者としても大家でいらせられたのでありました。今先生を失ひました事、寔に痛惜に堪えない次第でございます。